

光市医師会報

No 172

We are Doctors



Dentist

昭和62年 2月発行
光市医師会

新年ごあいさつ



光市医師会長
竹中昭二

新年、明けまして御目出度うございます。会員の皆様方には、御健勝にて越年された事と拝察致し、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、年初のスペースシャトルの爆発に始まり、伊豆大島、三原山の火山爆発に終りました様に、社会を騒然とさせる問題の多発致した年でありました。医師会周辺に目をやりますと、健康保険点数の改定と薬価基準引き下げの抱き合せ改良の実施、医療法改正による地域医療計画の実施、又日本医師会提唱の生涯教育の策定に伴う各種研修会の実施或はそれへの参加、年末ぎりぎりには老人保健法改正（悪？）案成立等々、めまぐるしい年でした。光医師会にとりまして特筆されるべきは、生涯教育の一端として周南医学会を主催し、成功裡に終了させた事だと思いません。その節は会員の皆様方に絶大な御協力を頂き、深く感謝致している次第であります。

この様な状況下で昭和62年新春を迎えたわけではありますが、本年も会員の皆様方の御協力、御援助により希望のもてるより良き年である様にしたいものと念願致しております。本年も昨年末、老人保健法の改正（悪）が実施されました様に、行政改革による福祉の後退、或は医療費の締めつけがきびしく行われる事も予想されますが、このような悪環境の中にあっても医の倫理

の向上、地域医療、救急医療、又プライマリケアに対する対応等、医療のプロフェッションとして積極的に取り組まなければならないと考えております。

医療法改正実施による地域医療策定等未だ十分に具体化しておりませんがそれに対応、又医師として生涯教育、生涯研修による医療の質の向上に努力すべき時期ではあるまいかと痛感しております。

本年は光市医師会と致しましては、一昨年の山口県医学会、昨年の周南医学会等の様な大きな学会引き受けの予定はありませんが、昭和61年度総会で申し述べました、「よく学び、よく遊べ」の気持は本年も之を実践に移してゆく心算であります。

尚山口県医師会に於ては、県医師会創立百周年の記念として、数々の行事を予定し準備がなされております。当医師会もその一端である山口県医師会ゴルフコンペを主催する事になっております。周南カントリークラブに於て、11月23日に実施すべく、当医師会ゴルフ部会及び緑友会で準備計画中であります。会員諸氏の御協力を頂いて是非成功させたいものと念願致しております。

以上年の初めにあたり、いささが所感を述べまして御あいさつと致します。

会員の皆さん、「今年こそは」の気概を以って本年も邁進しましょう。

擲筆にあたり光市医師会の益々の発展と会員諸氏の御健康をお祈り申し上げます。

昭和62年 元旦

医師会月間行事

S62年1月度理事会

1月10日 6:30PM 於小蜂寿司
議 題

1. 臨時総会に関する件
2. 学術講演会に関する件 (以上会長)
3. 学術研修会の件 (富恵理事)
4. 来年度の諸報酬の支払い方法について (副会長)
5. 光市医師会 (4月~12月) 収支決算報告 (近藤理事)
6. 新年互礼会の件 (藤原理事)

S62年1月度月例会、

臨時総会、新年互礼会

1月20日 7:00PM 於光医師会館

月 例 会

報告事項

1. 忘年会の募金
39,400円の感謝状について
2. 学術講演会について
3. 老人保健法の1月1日から改正について
4. 学術研修会について

臨時総会 7:08~7:30

(出席20名 委任状18名)

1. 承認事項

- (1) 周南医学会特別会計収支決算報告の件
- (2) 同上剰余金の処理に関する件

2. 決議事項

- (1) 光市医師会史編纂特別会計設立の件

新年互礼会 7:30

学 術 研 修 会

1月27日 於 光市保健センター



演題：救急処置

講師：周東総合病院麻酔科部長
得津 佳道 先生

今回は1986年JAMA救急蘇生の指針に沿って改訂点を中心に1次救命処置、2次救命処置についての講演であった。

又、先生方に混って多くの看護婦の参加者があったことも印象的であった。

学術講演会

1月17日 2:00~4:00PM

於 光市民小ホール



演題

「これからの子供たちへの性教育」

講師 日本母性保護医協会

広島県支部長 江川義雄 先生

先生は「家庭と学校における取り組み方の定義づけは容易であるが、その具体的な実践はむずかしく、性教育への果す役割は重要である。

人の教育は、随所随時行往座臥の間に行われるものであれば、生れてから成年に至るまで、大きい効果をもつのは家庭であり、学校での環境指導であって、社会からの教育的影響力は大きい」として、

性の問題は、性のみが独立して、原因となるよりも、種々複合された生活内容や家庭、社会の病理現象などが関連して起り、今日のように性に対する正しい知識の普及が徹底されず、又家庭においても性に関し

ての基本的指導はなされず、その盲点を補充し教育すべき学校の対応も消極的であるが故に、性道徳は、その基盤を無知の上に置いてはならない。正しい性行動は無知によって助長されるのではなく、又知識によって妨害されるものでもないと言う英国の哲学者・バートランド・ラッセルの言葉を引用し、学習の重要性を指摘している。

子どもを中心として、家庭と学校と一体となる近代的な学習体制の構築こそ現代社会に求められる緊急な課題の一つといえるであろう。

と言われ、今後指導者としての親や教師の性に対する意識や態度への反省を求めると共に、私達はこの分野における有能な助言者として、家庭・学校と社会に、その専門的な知識を活かして、これからの社会的な要請に応えるべく、新たな学習に取り組む必要があるであろう、と話を結んでおられる。



This is

my treasure ♥♥

うちかたの先生

年光隆幸先生

編



光市立病院の年光先生、冬でも半袖の白衣を着て、銀ぶちのメガネをかけ、時折り胸のポケットから櫛をとり出し、くしけずりながら、颯爽と廊下を歩いて行かれます。挨拶をすると、ちょっと気障っぽく、片手をちょっとあげて、「おはよう」と言って下さいます。

性格はとても几帳面、カルテも、書類も、指示簿も、整然として、きちんとした字が並びます。

だから、先生の傍にいる時は、みんなとても気を遣います。包帯もできるかぎりきれいに巻く、絆そう膏も、ハサミで切って美的に、患者さんの介助も親切に……。

説明もていねいに……。

それも手早く、簡潔に、ぐずぐずしていると、ペンをカチカチならす音や、机をコツコツたたく音が聞こえてくるんです。

言葉使いにも気をつかいます。変な言葉や放言を使ったりすると、すぐに、真似をされてしまいます。まるで、学校の先生の傍にいるみたい。

患者さんにも、きちんと必要な事だけを説明されるけれど、相手の方から、あまり関係のない事をくどくどと言われると、メガネの奥から何か言いたそうな信号をチカ

チカッとさせて、少し皮肉っぽく返事をされるものだから、患者さんの中には、「あの先生、ちょっと怖い……」なんて言われる方もあります。

くどくど言われるのは、好きじゃないんですね。失敗したりして、叱られる時も、「言い訳、無用!!」とバシッと叱られてしまいます。でも、あとがないので助かります。

だけど、どうしていつもちょっと、難しい顔ばかりされてるのかな、笑顔は結構、すてきなのに……。

だから、いいのかな？

テレビマンガの流れ星「銀」のファンだという噂もあるけど、銀の気分になって…と思うと若い!!



しかし、話題が奥さんのこととなると、とたんに顔がほころんで、まるで別人のよう。「うちの孝子が……」と話されされると、もう止まりません。話したくて、仕方がない。というかんじ。本当に愛妻家なんですね。仕事が忙しくて、せっかくの愛妻弁当も、手つかずで持って帰られることも、たびたびあるとか。

「今年は、昼ごはんを、きちんと食べる。家に、そのまま帰らない」と公言されたのですから、ぜひ、実行して下さいね。

くれぐれも、それ以上、体重を減らさないで欲しいと願っています。

あとがき

私の赤い手帳には、今年になって1ヶ月
なのにもう10時間以上の研修記録がある。
「うそーつけえー」とか「やせ馬のさき走
り」というなかれ、たまたま、こういうこ
とになったのである。

たくさんの演者の講演をきかせていた
だが、寝足りていても、ねむくなるもの、
寝不足でも、全然ねむたくなならないもの
がある。興味のあるものを選んで行ってい
るのに残念なことである。

さあ!!今年も、生涯教育と医師会報の悪
夢と戦いながら一年頑張ろう。

皆さんよろしく。



発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社